

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2011-53949(P2011-53949A)

【公開日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-011

【出願番号】特願2009-202783(P2009-202783)

【国際特許分類】

G 07 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 07 D 9/00 4 5 6 A

G 07 D 9/00 4 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月8日(2012.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貨幣を収納し、貨幣を出金または入金する出納機と、該出納機と通信可能に接続され、該出納機とは別に貨幣を収納しつつ管理する貨幣管理装置と、を備える貨幣管理システムであって、

前記出納機は、

貨幣を格納する収納手段と、

前記貨幣管理装置に入出金する入出金操作の詳細を含む第1の連携情報を貨幣管理装置に送信する通信手段と、

当該出納機内に収納されている貨幣の在高、前記貨幣管理装置内に格納されている貨幣の在高を少なくとも記憶する記憶手段と、

前記貨幣管理装置内の貨幣の在高を更新する制御手段とを備え、

前記貨幣管理装置は、

貨幣を格納する収納手段と、

前記第1の連携情報を前記出納機から受信する通信手段と、

該貨幣管理装置に入力され入出金する入出金操作の詳細を含む第2の連携情報と前記第1の連携情報とが一致する場合に貨幣の収納／取出を可能な状態にする制御手段とを備え、

操作者が前記出納機の操作をすることなく、前記貨幣管理装置から貨幣を入金または出金する場合、

前記貨幣管理装置の通信手段は、前記貨幣管理装置の収納手段に入金され、あるいは、該収納手段から出金された貨幣の金種、数量および／または金額を含む処理情報を前記出納機へ送り、

前記出納機の通信手段は、前記処理情報を前記貨幣管理装置から受信し、

前記出納機の演算手段は、前記処理情報に基づいて、少なくとも前記貨幣管理装置内の貨幣の在高を更新することを特徴とする貨幣管理システム。

【請求項2】

前記貨幣管理装置は、

前記収納手段に入金され、あるいは、前記収納手段から出金された貨幣の金種、数量および／または金額を入力する入力手段と、

前記収納手段に実際に入金され、あるいは、前記収納手段から実際に出金された貨幣の金種、数量および／または金額を測定する測定手段と、

前記入力手段において入力された貨幣の金種、数量および／または金額と前記測定手段において測定された貨幣の金種、数量および／または金額とが異なる場合に、当該貨幣管理装置の操作者にエラーを通知するエラー通知手段と、をさらに備え、

前記入力手段において入力された貨幣の金種、数量および／または金額と前記測定手段において測定された貨幣の金種、数量および／または金額とがそれぞれ等しい場合に、前記貨幣管理装置は、前記処理情報を前記出納機へ送り、

前記入力手段において入力された貨幣の金種、数量および／または金額と前記測定手段において測定された貨幣の金種、数量および／または金額とが異なる場合に、前記貨幣管理装置は、前記処理情報を前記出納機へ送らずに、該貨幣管理装置の操作者にエラーを通知することを特徴とする請求項1に記載の貨幣管理システム。

【請求項3】

前記金融機関店舗内の貨幣を収納する金庫をさらに備え、

前記出納機の前記記憶手段は、前記金庫内の在庫在高を記憶し、

前記金庫から前記貨幣管理装置へ貨幣を装填し、あるいは、前記貨幣管理装置から前記金庫へ貨幣を回収する場合に、前記貨幣管理装置の前記通信手段は、前記貨幣管理装置へ装填された貨幣、あるいは、前記金庫へ回収された貨幣の金種、数量および／または金額を含む処理情報を前記出納機へ送り、前記出納機の前記演算手段は、前記処理情報に基づいて、前記在庫在高を更新することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の貨幣管理システム。

【請求項4】

前記出納機の前記記憶手段は、前記金融機関店舗内の係員の手元にある手持ち貨幣の在高を記憶し、

前記手持ち貨幣から前記貨幣管理装置へ貨幣を装填し、あるいは、前記貨幣管理装置から前記手持ち貨幣へ貨幣を回収する場合に、前記貨幣管理装置の前記通信手段は、前記貨幣管理装置へ装填された貨幣、あるいは、前記手持ち貨幣へ回収された貨幣の金種、数量および／または金額を含む処理情報を前記出納機へ送り、前記出納機の前記演算手段は、前記処理情報に基づいて、前記手持ち貨幣の在高を更新することを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の貨幣管理システム。

【請求項5】

前記金融機関店舗において係員が顧客から預かった貨幣を前記貨幣管理装置へ収納する場合、前記貨幣管理装置は、前記収納手段に収納されている貨幣の在高に、顧客から預かった貨幣を加算し、

前記金融機関店舗において係員が顧客へ支払った貨幣を前記貨幣管理装置から取り出す場合、前記貨幣管理装置は、前記収納手段に収納されている貨幣の在高から、顧客へ支払う貨幣を減算し、

前記貨幣管理装置の前記通信手段は、前記収納手段に収納され、あるいは、該収納手段から取り出された貨幣の金種、数量および／または金額を含む処理情報を前記出納機へ送り、

前記出納機の前記演算手段は、前記処理情報に基づいて前記貨幣管理装置内の貨幣の在高を更新することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の貨幣管理システム。

【請求項6】

前記出納機は、前記在高管理手段の前記収納手段に格納された貨幣の在高を、前記金融機関店舗内の係員の手元にある手持ち貨幣の在高の一部として記憶することを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか一項に記載の貨幣管理システム。

【請求項7】

前記貨幣管理装置は、前記処理情報を前記出納機が取扱い可能なフォーマットに変換して送ることを特徴とする請求項1乃至請求項6のいずれか一項に記載の貨幣管理システム

。

【請求項 8】

前記貨幣管理装置は、前記出納機と無線 LAN または光 LAN により常時接続されることを特徴とする請求項 1 に記載の貨幣管理システム。

【請求項 9】

前記貨幣管理装置と前記出納機とが通信接続されていないオフライン時に、前記貨幣管理装置は、前記記憶手段に前記処理情報を保存しておき、

前記貨幣管理装置と前記出納機とが通信接続されたオンライン時に、前記貨幣管理装置は、前記処理情報を前記出納機へ送信することを特徴とする請求項 1 に記載の貨幣管理システム。

【請求項 10】

貨幣を収納し、貨幣を出金または入金する出納機と、該出納機と通信可能に接続され、該出納機とは別に貨幣を収納しつつ管理する貨幣管理装置と、を備える貨幣管理システムを用いた貨幣管理方法であって、

前記出納機が管理する在高には、前記貨幣管理装置内の貨幣の在高が含まれており、前記出納機が前記貨幣管理装置に入出金する入出金操作の詳細を含む第 1 の連携情報を前記貨幣管理装置へ送信した場合、

前記貨幣管理装置は、前記貨幣管理装置に入力され入出金する入出金操作の詳細を含む第 2 の連携情報を前記第 1 の連携情報をとが一致する場合に貨幣の収納 / 取出を可能な状態にし、

操作者が前記出納機の操作をすることなく、前記貨幣管理装置から貨幣を入金または出金する場合、

前記貨幣管理装置に貨幣を入金し、あるいは、前記貨幣管理装置から貨幣を出金した場合に、該貨幣管理装置に入金され、あるいは、該貨幣管理装置から出金された貨幣の金種、数量および / または金額を前記貨幣管理装置において測定する過程と、

前記貨幣管理装置に入金され、あるいは、前記貨幣管理装置から出金された貨幣の金種、数量および / または金額を前記貨幣管理装置に入力する過程と、

前記測定過程で測定された貨幣の金種、数量および / または金額と、前記入力過程で入力された貨幣の金種、数量および / または金額とが等しい場合、前記貨幣管理装置は、該貨幣管理装置に入金され、あるいは、該貨幣管理装置から出金された貨幣の金種、数量および / または金額を含む処理情報を前記貨幣管理装置から前記出納機へ送る過程と、

前記出納機が、前記処理情報に基づいて、少なくとも前記貨幣管理装置内の貨幣の在高を更新する過程とを備えた貨幣管理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 5】

また、行員が貨幣管理装置 200 から貨幣を入金または出金したときに、行員は出納機 100 の操作をする必要が無い。従って、行員による貨幣管理装置 200 のみの操作によって、出納機 100 において正確且つ総合的な金融機関内の在高を一元管理することができる。その結果、行員の手間を省くことができ、低コストな業務運営を実現することができる。